

(令和2年7月試験研究業務月報)

試験研究課題名：強樹勢台木の接ぎ木による賀茂ナス果実の高品質・高付加価値化技術の確立

研 究

## 賀茂ナス栽培に使用する各台木の根量調査

賀茂ナスは、夏期に根の吸水能力が低下し、艶なし果が発生することが問題となっています。

そこで当センターでは、昨年度まで吸水能力が高いなどの特徴をもつ台木<sup>※1</sup>品種の選定を進めており、今年度は3品種（トルバム・ビガー、耐病VF、ミート）の台木を用いて、主に吸水性の試験を行っています。

7月29日に、試験に供試している台木3品種の根を取りだし、根量を比較したところ、昨年まで収量や果実の艶が最も優れていたトルバム・ビガーの根量が明らかに多くなっていました。逆に最も根量の少ない台木はミートでした。

今後、台木3品種の実際の吸水量を調査するとともに、収量や艶なし果の発生状況を調べて、根量との関連を検討します。

※1 台木：ナス科などの野菜では、土壌伝染性の病害や低温、高温への対策として、それらに強い特性を持つ植物や品種に接ぎ木して栽培します。この時利用する植物や品種を台木といいます。



トルバム・ビガーの根量



ミートの根量